

①聖霊によって禁じられる、とは。

パウロは懸命に伝道しました。しかし、今日の箇所には、伝道が妨げられて行く場所を変更したにもかかわらず、それもまた妨げられたことが記されています。つまり、アジア州では「御言葉を語ることを聖霊から禁じられ」(6)、そこでビティニア州に入ろうとすると、「イエスの霊がそれを許さなかった」(7) のです。「聖霊によって禁じられる」とは、「神様がお止めになられたのだ」ということを意味します。これを書いたルカもパウロも、そのように考えたのです。神様のために働いていると思っているのに、それが2度も妨げられるというのは、パウロにとって大きな挫折であったでしょう。しかし、第一に、そこで「神様が妨げられたのだ」と考えられること、この意味は大きいと思います。神なしに生きる中での挫折と、神と共に生きる中での挫折の違いの第一です。

②新しい使命が託されるとき

パウロは、神様の助けだと考えた末、「それで (ひとまず)、～トロアスに下った」(8) のです。神様を覚えながら生きているのにどうしていいか分からなくなることは、私たちにも起こります。そのような時はあせらず、ひとまず、採れる方向に駒を進めたいのです。そうする中で神様は必ず次の道を示して下さるからです。「その夜、パウロは幻を見た。～パウロがこの幻を見たとき、～ために、神が私たちを召されているのだと、確信するに至ったからです」(9-10)。ここで「確信するに至る」と訳されているギリシア語の元の意は「一緒にして結びつける」です。パウロは、思っていた道が妨げられたこと、マケドニア人が「助けに来て下さい」と叫んでいる幻(夢?)を見たことを一緒にして結びつけて考えたのです。その結果、今まで思いもしなかったヨーロッパへの伝道の開始ということになったのです!

挫折は私たちをしばしば絶望に追い込みます。しかし、神様と共に歩む人生の中での挫折は違います。まず①絶望することではない、むしろ②神様から与えられる新しい使命を聞き取る機会、なのです。そのためには、起こることを信仰的に結びつけ、祈り、考えることです。